

百人一首集 3

二〇一三年二月十四日 改訂

ひやくにんいっしゆ べんきよう しかた
百人一首の勉強の仕方

● 作文教室 言葉の森

一日に三首を、三十回ぐらい音読し、三首続けて暗唱できるように
しましょう。かかる時間は十分ぐらいです。

続けて暗唱できる人は、一週間で九首、一か月で二十七首続けて
暗唱できるようにしていきましょう。

言葉の意味を知りたいときは、古語辞典やウェブ古語辞典で調べま
しょう。

ウェブ古語辞典

<http://kobun.weblio.jp/>



百人一首集は、家庭学習国語のページにあります。

<http://www.mori7.com/ka/koku/>



1 **たき** 滝の音はたえて久しくなりぬれど名こそ流れてなほ聞えけれ 大納言公任 拾遺集

たきのおとは たえてひさしく なりぬれど なこそながれて なほきこえけれ 滝(タキ名)の(ノ格助)音(オト名)は(ハ係助)たえ(タユ動)ヤ下二用)て(テ接助)久しく(ヒサシ)形シク用)なり(ナル動)ラ四用)ぬれ(ヌ助動)完了)已)ど(ド接助)名(ナ名)こそ(コソ)係助)流れ(ナガル動)ラ下二用)て(テ接助)なほ(ナホ)副)聞え(キコユ動)ヤ下二用)けれ(ケリ助動)詠嘆)已)

2 **あらざ** あらざらむこの世のほかの思ひ出にいまひとたびのあふこともがな 和泉式部 後拾遺集

あらざらむ このよのほかの おもひでに いまひとたびの あふこともがな あら(アリ動)ラ変)未)ざら(ズ助動)打消)未)む(ム助動)推量)・仮定)・婉曲)体)こ(コ)代名)の(ノ格助)世(ヨ名)の(ノ格助)ほか(ホカ名)の(ノ格助)思ひ出(オモヒデ)名)に(ニ格助)いま(イマ)イマ副)ひとたび(ヒトタビ)名)の(ノ格助)あふ(アフ動)ハ四用)こと(コト)名)もがな(モガナ)終助)

3 **め** めぐりあひて見しやそれとも分かぬまに雲がくれにし夜半の月かげ 紫式部 新古今集

めぐりあひて みしやそれとも わかぬまに くもがくれにし よはのつきかな めぐりあひ(メグリアフ動)て(テ接助)見(ミル動)マ上一用)し(キ助動)過去)体)や(ヤ係助)それ(ソレ)代名)と(ト)格助)も(モ)係助)分か(ワク動)カ四)未)ぬ(ズ助動)打消)体)ま(マ)名)に(ニ格助)雲(クモ)がくれ(クモガクル動)ラ下二用)に(ニ)又)助動)完了)用)し(キ助動)過去)体)夜半(ヨハ)名)の(ノ格助)月(ツキ)名)を(ヲ)格助)見(ミル動)マ上一用)し(キ助動)過去)体)かな(カナ)終助)

4 **ありま** 有馬山猪名のささ原風吹けばいでそよ人を忘れやはする 大式三位 後拾遺集

ありまやま ゐなのささはら かぜふけば いでそよひとを わすれやはする 有馬山(アリヤマ)名)猪名(イナ)名)の(ノ格助)ささ原(サハラ)名)風(カゼ)名)吹(フク動)カ四)已)ば(バ)接助)いで(イデ)感動)そ(ソ)代名)よ(ヨ)終助)人(ヒト)名)を(ヲ)格助)忘れ(ワスル動)ラ下二用)や(ヤ係助)は(ハ)係助)する(ス動)サ変)体)

5 **やす** やすらはで寝なましものをさ夜更けてかたぶくまでの月を見しかな 赤染衛門 後拾遺集

やすらはで ねなましものを さよふけて かたぶくまでの つきをみしかな やすらは(ヤスラフ動)ハ四)未)で(デ)接助)寝(ヌ)又)動)ナ下二)未)な(ヌ)助動)強意)未)まし(マシ)助動)反実)願望)体)もの(モノ)ヲ)終助)②)さ(サ)接頭)夜(ヨ)名)更(フク動)カ下二)用)て(テ)接助)かたぶく(カタブク動)カ四)体)まで(マデ)副助)の(ノ)格助)月(ツキ)名)を(ヲ)格助)見(ミル動)マ上一)用)し(キ助動)過去)体)かな(カナ)終助)

6 **おほえ** 大江山いく野の道の遠ければまだふみも見ず天の橋立 小式部内侍 金葉集

おほえやま いくののみちの とほければ まだふみもみず あまのはしだて 大江山(オホエヤマ)名)いく野(イクノ)名)の(ノ)格助)道(ミチ)名)の(ノ)格助)遠(トホシ)形)ク)已)ば(バ)接助)まだ(マダ)副)ふみ(フム動)マ四)用)も(モ)係助)見(ミル動)マ上一)未)ず(ズ)助動)打消)終)④)天(アマ)ノ)橋立(ハシダテ)名)

7 **いにしへ** いにしへの奈良の都の八重桜けふ九重にほひぬるかな 伊勢大輔 詞花集

いにしへの ならのみやこの やへぎくら けふこのへに ほひぬるかな いにしへ(イニシヘ)名)の(ノ)格助)奈良(ナラ)名)の(ノ)格助)八重(ヤヘ)名)の(ノ)格助)桜(サクラ)名)けふ(ケフ)名)九(ク)重(コ)重(コ)ノ)へ)名)に(ニ)格助)ほ(ホ)フ動)ハ四)用)ぬ(ぬ)る(ヌ)又)助動)完了)体)かな(カナ)終助)

大納言公任

和泉式部

紫式部

大式三位

赤染衛門

小式部内侍

伊勢大輔

乃木将景

乃木将景

乃木将景

乃木将景

乃木将景

乃木将景

4 あさぼらけ 朝ぼらけ 宇治の川霧たえだえにあらはれわたる瀬々の網代木 権中納言定頼 千載集

あさぼらけ うぢのかはぎり たえだえに あらはれわたる せぜのあじろぎ 朝ぼらけ(アサボラケ名・副) 宇治(ウヂ名)の(ノ格助) 川霧(カハギリ名) たえだえに(タエダエナリ 形動ナリ 用) あらはれ(アラハル 動ラ下二 用) わたる(ワタル 動ラ四 体) 瀬々(セゼ名)の(ノ格助) 網代木(アジロギ名)

うらみわび 恨みわび ぼさぬそでだに あるものを こひにくちなむ なこそをしけれ 恨み(ウラム 動マ上二 用) わび(ワブ 動バ四 用) ぼさ(ホス 動サ四 未) ぬ(ズ 助動 打消 体) 袖(ソデ名)だに(ダニ 副助) ある(アリ 動ラ変 体) ものを(モノヲ 接助) 恋(コヒ名)に(ニ格助) 朽ち(クツ 動タ上二 用) な(ヌ 助動 強意 未) む(ム 助動 推量 体) 名(ナ名)こそ(こそ 係助) 惜しけれ(ヲシ 形シク 已)

もろともにあはれと思へ山桜花よりほかに知る人もなし 前大僧正行尊 金葉集

もろともにあはれとおもへ やまざくら はなよりほかに しるひともなし もろとも(モロトモニ 副) あはれ(アハレ 形動ナリ 語幹) と(ト格助) 思へ(オモフ 動ハ四 命) ②山桜(ヤマザクラ名) ③花(ハナ名)より(ヨリ 格助) ほか(ホカ名)に(ニ格助) 知る(シル 動ラ四 体) 人(ヒト名)も(モ 係助) なし(ナシ 形ク終)

5 はるの 春の夜の夢ばかりなる手枕にかひなく立たむ名こそ惜しけれ 周防内侍 千載集

はるのよの ゆめばかりなる たまくらに かひなくたたむ なこそをしけれ 春(ハル名)の(ノ格助) 夜(ヨ名)の(ノ格助) 夢(ユメ名)ばかり(バカリ 副助) なる(ナリ 助動 断定 体) 手枕(タマクラ名)に(ニ格助) かひなく(カヒナシ 形ク 用) 立た(タツ 動タ四 未) む(ム 助動 仮定・婉曲 体) 名(ナ名)こそ(こそ 係助) 惜しけれ(ヲシ 形シク 已)

こころに 心にもあらでうき世にながらへば恋しかるべき夜半の月かな 三条院 後拾遺集

こころにも あらでうきよに ながらへば こひしかるべき よはのつきかな 心(ココロ名)に(ナリ 助動 断定 用) も(モ 係助) あら(アリ 動ラ変 未) で(デ 接助) うき世(ウキヨ名)に(ニ格助) ながらへ(ナガラフ 動ハ下二 未) ば(バ 接助) 恋しかる(コヒシ 形シク 体) べき(ベシ 助動 推量 体) 夜半(ヨハ名)の(ノ格助) 月(ツキ名)かな(カナ 終助)

あらし 嵐吹く三室の山のもみぢ葉は龍田の川の錦なりけり 能因法師 後拾遺集

あらしふく みむろのやまの もみぢばは たつたのかはの にしきなりけり 嵐(アラシ名) 吹く(フク 動カ四 体) 三室の山(ミムロノヤマ名)の(ノ格助) もみぢ葉(モミヂバ名)は(ハ 係助) 龍田の川(タツタノカハ名)の(ノ格助) 錦(ニシキ名)なり(ナリ 助動 断定 用) けり(ケリ 助動 詠嘆 終)

6 さびしさに 宿を立ち出でてながむればいづくもおなじ秋の夕暮 良運法師 後拾遺集

さびしさに やどをたちいでて ながむれば いづこもおなじ あきのゆふぐれ さびしさに(サビシサ名)に(ニ格助) 宿(ヤド名)を(ヲ 格助) 立ち出(タチイズツ 動ダ下二 用) て(テ 接助) ながむ(ナガム 動マ下二 已) ば(バ 接助) いづく(イツク 代名)も(モ 係助) おなじ(オナジ 形シク 体) ④秋(アキ名)の(ノ格助) 夕暮(ユフグレ名)

ゆふ 夕されば門田の稲葉おとづれて蘆のまる屋に秋風ぞ吹く 大納言経信 金葉集

ゆふされば かどたのいなば おとづれて あしのまるやに あきかぜぞふく 夕され(ユフサル 動ラ四 已) ば(バ 接助) 門田(カドタ名)の(ノ格助) 稲葉(イナバ名)おとづ(オトヅル 動ラ下二 用) て(テ 接助) 蘆(アシ名)の(ノ格助) まる屋(マロヤ名)に(ニ格助) 秋風(アキカゼ名)ぞ(ゾ 係助) 吹く(フク 動カ四 体)

おと 音に聞く高師の浜のあだ波はかけじや袖の濡れもこそすれ 祐子内親王家紀伊 金葉集

おとにきく たかしのはまの あだなみは かけじやそでの ぬれもこそすれ 音(オト名)に(ニ格助) 聞く(キク 動カ四 体) 高師の浜(カシノハマ名)の(ノ格助) あだ波(アダナミ名)は(ハ 係助) かけ(カク 動カ下二 未) じ(ジ 助動 打消 意志 終) や(ヤ 間助) ④袖(ソデ名)の(ノ格助) 濡れ(ヌレ)ナル(ナル 動ラ下二 用) も(モ 係助) こそ(こそ 係助) すれ(スレ 又 動サ変 已)



7 たか 高砂の尾上の桜咲きにけり外山の霞立たずもあらなむ 権中納言匡房 後拾遺集

たかさこのをへのさくら さきにけり とやまのかすみ たたずもあらなむ 高砂(タカサゴ名)の(ノ格助)尾上(ヲノへ名)の(ノ格助)桜(サクラ名)咲き(サク動)力(カ四用)に(又助動)完了(用)けり(ケリ助動)詠嘆(終)③外山(トヤマ名)の(ノ格助)霞(カスミ名)立た(タツ動)夕(タ四未)ず(ズ助動)打消(用)も(モ係助)あら(アリ助動)変(未)なむ(ナム終助)

うか 憂かりける人をはつせの山おろしよはげしかれとは祈らぬものを 源俊賴朝臣 千載集

うかりける ひとをはつせの やまおろしよ はげしかれとは いのらぬものを 憂かり(ウシ形)ク(用)ける(ケリ助動)過去(去)体(人)ヒト(名)を(ヲ格助)はつせ(ハツセ名)の(ノ格助)山(ヤマ)おろし(ヤマオロシ名)よ(ヨ間助)はげしかれ(ハゲシ形)シク(命)と(ト格助)は(ハ係助)祈(ラ)ぬ(イノル動)ラ(四未)ぬ(ヌ助動)打消(体)ものを(モノヲ終助)

ちぎりおき 契りおきしさせもが露を命にてあはれ今年の秋もいぬめり 藤原基俊 千載集

ちぎりおきし させもがつゆを いのちにて あはれことしの あきもいぬめり 契り(チギリ動)ラ(四用)おき(オク動)力(カ四用)し(キ助動)過去(去)体(させ)も(サセモ名)が(ガ格助)露(ツユ名)を(ヲ格助)命(イノチ名)に(ナリ助動)断(定)用(テ)接(助)あはれ(アハレ感動)今年(コトシ名)の(ノ格助)秋(アキ名)も(モ係助)いぬ(イヌ動)ナ(変)終(メ)り(メリ助動)推(定)・婉(曲)終

わたのはらこ わたの原漕ぎ出でて見ればひさかたの雲居にまがふ沖つ白波 法性寺入道前関白太政大臣 詞花集

わたのはら こぎいでてみれば ひさかたの くもるにまがふ おきつしらなみ わたの原(ワタノハラ名)漕(ぎ)出(で)て(コギイヅ動)ダ(下二用)て(テ接助)見(れ)ば(ハレ感動)ひさ(カ)か(タ)の(ノ格助)雲(クモ)居(る)に(ニ格助)ま(ま)が(ガ)ふ(マガフ動)ハ(四)体(ハ)沖(つ)白(は)波(なみ)

せ 瀬をはやみ岩にせかるる滝川のわれても末に逢はむとぞ思ふ 崇徳院 詞花集

せをはやみ いはにせかるる たきがはの われてもすゑに あはむとぞおもふ 瀬(セ名)を(ヲ間助)は(ハヤシ形)ク(語幹)み(ミ接尾)岩(イハ名)に(ニ格助)せ(セカ)セ(セク動)力(カ四未)る(ル助動)受(身)体(滝川(タキガハ名)の(ノ格助)わ(れ)ワ(ル動)ラ(下二用)て(テ接助)も(モ係助)末(スエ名)に(ニ格助)逢(ア)フ(動)ハ(四未)む(ム助動)意(志)終(ト)格(助)ぞ(ゾ係助)思(お)ふ(オモフ動)ハ(四)体

あはぢしま 淡路島かよふ千鳥のなく声に幾夜寝ざめぬ須磨の関守 源兼昌 金葉集

あはぢしま かよふちどりの なくこゑに いくよねざめぬ すまのせきもり 淡路島(アハヂシマ名)かよ(ふ)カ(ヨフ動)ハ(四)体(千鳥(チドリ名)の(ノ格助)な(ク)動(カ)四(体)声(コエ名)に(ニ格助)幾(幾夜(イクヨ名)寝(ざ)め(ネザム動)マ(下二用)ぬ(ヌ助動)完(了)終(④)須磨(スマリ名)の(ノ格助)関(関守(セキモリ名)

あきか 秋風にたなびく雲の絶えまよりもれ出づる月の影のさやけさ 左京大夫顯輔 新古今集

あきかぜに たなびくもの たえまより もれいづるつきの かげのさやけさ 秋風(アキカゼ名)に(ニ格助)た(な)び(く)タ(ナビク動)カ(四)体(雲(クモ名)の(ノ格助)絶(絶え(タエマ名)より(ヨリ格助)も(れ)出(出づる(モレイヅ動)ダ(下二)休(月(ツキ名)の(ノ格助)影(カゲ名)の(ノ格助)さ(さ)や(や)け(け)さ(サ名)

ながか 長からむ心も知らず黒髪のみだれて今朝はものをこそ思へ 待賢門院堀河 千載集

ながからむ こころもしらず くろかみの みだれてけさは ものをこそおもへ 長(長から(ナガシ形)ク(未)む(ム助動)婉(曲)体(心(ココロ名)も(モ係助)知(ら)シ(ル動)ラ(四未)ず(ズ助動)打(消)終(②)黒(髪)の(クロカミノ)枕(詞)み(だ)れ(ミダ(ル動)ラ(下二用)て(テ接助)今(朝(ケサ名)は(ハ)何(と)と(ぎ)す(ナギツる)か(た)を(ナガ(む)れ(ば)た(だ)有(明)の(月(ぞ)残(れ)る(後(徳(大(寺(左(大(臣(千(載(集

ほととぎす なぎつるかたを ながむれば ただありあけの つきぞのこれる ほととぎす(ホトトギス名)鳴(き)チ(ク動)力(カ四用)つ(る)ツ(ツ助動)完(了)体(方(カタ名)を(ヲ格助)な(が)む(れ)ナ(ガム動)マ(下二)已(バ)接(助)た(だ)有(明(アリアケ名)の(ノ格助)月(ツキ名)ぞ(ゾ係助)残(れ)ノ(コ)ル(動)ラ(四)已(る)リ(助動)存(続)体

